

豊穡と鎮護の祈り道 八幡

千曲市川西地区ウォーキングマップ

かわにしburari・千曲市



①武水別神社

武水別神社節分祭追儺行事



古くからの縁起式内社で「明神大社」の社格を有していた。貞観 8 年 (866) に無位から一躍従二位の神階奉授を受け、翌年官社となる。平安末期、石清水八幡宮の荘園だったこの地に八幡宮を勧請。木曾義仲の戦勝祈願 (養和元年 / 1181)、上杉謙信の勧請文 (弘治 3 年 / 1557、永禄 7 年 / 1564) などこの地方随一の八幡宮として広く武門の崇敬を受けた。慶安元年 (1648)、徳川家光が朱印 200 石を付す。天保 8 年 (1837)、社号を八幡宮の別称として武水別神社に改め、祭神を武水別神に、相殿神として誉田別命 (応神天皇)、息長足比売命 (神功皇后)、比咩大神を祀る。1 月 6 日の田植え祭り、12 月 10 日 ~ 14 日の大頭祭 (国の選択無形民俗文化財) は市内外からの人出で賑わう。神社境内の樺、杉など 20 種 400 余本に及ぶ社叢は県の指定天然記念物。

大頭祭



その年の五穀豊穡を神に感謝する新嘗祭 (いになめさい) で、400 年以上の歴史を持つ。5 人の頭人 (とうにん) を中心に進行、最上位の三番頭を大頭と呼ぶことから祭りの名が付いた。毎年 12 月 10 ~ 14 日に行う。齋ノ森神社から武水別神社までの「お練り (頭人行列)」は、宝船から沿道いっぱいのお練りに「供物まき」が行われ、沿道の家々では豆がらを燃やし行列を迎える。

②松田家館跡・主屋・齋館

長野県宝。近世初頭から武水別神社の神官をつとめてきた松田家。間口 51 間 (約 93m) の敷地 (館跡=県史跡) の三方に土塁を築く屋敷構えは、中世の居館を前身とした近世 (江戸時代後期) の形状をほぼ保っているという。屋敷正面に表門、表



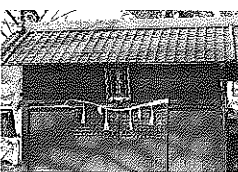
門の北側に長屋門、屋敷の中央に主屋 (県宝) を配置。屋敷の東北隅には隠居屋、西北隅に御霊屋、西南隅に氏神を祀る。表門をくぐり正面に松田家住宅主屋に接続した齋館 (県宝) があり、仲秋祭に神楽を迎える神殿造りの玄関がある。「玄関再造」等の棟札から文久元年 (1861) に建物の一部建替えが行われたと思われる。

④高根社

祭神は高根大神 (阿遅鉏高日子根神 / あじすきたかひこねのかみ / 農耕神。別名迦毛大御神 / 賀茂社の神) で、八幡宮の守護神。八幡神領字御高根 (現社宮司) に祀られていたが、近年 18 号バイパス工事で現在地に遷った。以前は、大頭祭頭人に差定された村人は必ず高根社に参拝して齋ノ森神社に向かった。現在は献備奉進式 (御式行列) の途上で頭人が高根社に向かい散米し礼拝してから齋ノ森神社に向かう。

⑤齋ノ森神社

大頭祭の行列が出発する神社でおおよそ 700 年前の鎌倉時代の建立と伝えられる。東山道信濃路の時を下って川中島平に入る入口を守る塞の神で、



先の宮 (武水別神社) を守る齋ノ森であった。古くから交通の要衝で市が立った八日市場地籍にあり、諏訪大明神とも云われ、八幡宮遥拝の適地であった。神社入口に、大正 9 年、津市の煉瓦職人清水万吉の遺志で建立されたというモダンなレンガ造りの献灯台が立つ。境内の大樺 (市指定樹木) は樹齢推定 500 年 ~ 600 年以上。

⑥臼道祖神

峰、姨捨、郡方面から下る道筋で、武水別神社入口近く、向八幡 (千曲川右岸) への分岐点でもある辻交差点に位置する道祖神。鳥居の先に流造りの社殿があり、その中に臼の台座の上に乗った自然石が祀られている。境内脇に、天満宮、天保 13 (1842) 年と刻まれた石碑がある。毎年 9 月 24 日、秋の祭日には公民館の庭で子供相撲を催行。かつては、早魃の夏は道祖神を川に沈め雨乞をした。また、8 月 1 日には虫送りの行事もあったという。

⑦青海橋跡

新宿地区と辻地区の境を流れていた小川 (現在は暗渠になっている) にかかっていた橋。大頭祭の時は、頭人はここで旅支度の草鞋 (わらじ) を脱ぎ、木履 (ばっくり) に履き替え、正装、ヒトからカミになる。そこへお宮の役向きが出向き頭人と挨拶、「どのような資格でここにいるのか、お宮との縁は」などの問答をした

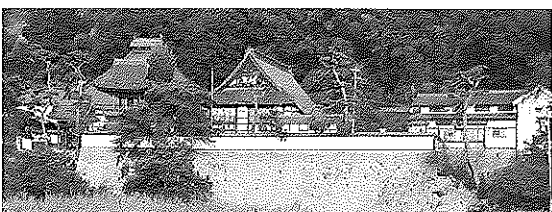
ことから別名「問答橋」ともいわれている。また、舞台を組んで雅楽「青海波」を奏で、舞われたことから「青海橋 (せいがいばし)」ともいわれている。

⑧笹焼神社

郡 (こうり) 集落の産土社で、現拝殿の造営は明治 17 年。同地に古代社宮司遺跡があり、建物跡、土器や漆紙文書、木造六角宝幢 (六角木幢) などが出土。この辺りに古代の役所 (郡衙・ぐんが) があったという説が有力。笹焼神社の祭神は、穢 (けがれ) を祓い清めるといふ瀬織津姫命 (祓処四柱中の一神で天照大神の分魂・荒御霊、瀧・川の神、水神)。武水別神社大頭祭の際、各斎庭の小竹葉造りの遥拝所をここで焼き清めたという。笹藪を焼く焼畑との関連で「開拓神」との説もある。



⑨大雲寺



天正 9 (1581) 年の創建の曹洞宗の古刹。山裾に城のような石垣を築き、白壁の塀を回した姿は、さながら一幅の絵のよう。長野の自然百選に選ばれ、春は桜 (4 月下旬)、夏は蓮 (7 月中旬 ~ 8 月) の花が見事。汚泥地にあっても、泥に染まらず清らかな花を咲かす蓮華は、「菩薩」に喩えられ、極楽世界を演出する。秋の紅葉、冬の雪景色も素晴らしい。一帯は、自然探勝園に指定され、散策ルートもある。

⑩霊諍山の石仏

大雲寺裏、標高約 500m の山頂にある霊場で、社殿や諸国の著名な社寺から勧請した百数十体の石神や石仏が並ぶ。明治中ごろ北河原権兵衛 (郡) が開山。修那羅大天武 (しよならだいてんむ、筑北) の高弟、和田辰五郎 (中原) とともに布教し、吉凶を占う「御座たて」神事も行った。マントに禪姿の猫、ヤットコを持った鬼、三途の川の奪衣婆などユーモラスな石仏がある。豊かな自然風土から郷土環境保全区域に指定されている。



社宮司遺跡と木造六角宝幢

八幡社宮司地籍は、坂城更埴バイパスと宮川が交わる辺り。平安末期の木造六角宝幢 (六角木幢) が出土して注目された。全国初の発見で、石の塔婆 (石幢) 出現前の木製仏塔として貴重。末法の世の救いを求め、木幢に祈った人々の思いが伝わる。美術工芸としての価値も高く、描かれた仏像群も当時の地方仏教美術の質を物語る。平成 23 年、長野県宝に指定。

さらしな湯の里
八幡温泉

八幡名物
肴うづらもち
製造本舗

ホテル うづらもち

政府登録国際観光旅館
〒387-0023 千曲市八幡 3067 TEL 026-272-1008 FAX 026-272-2129

武水別神社 八幡宮

千曲市八幡 3012
電話 026-272-1144

武水別神社 検索

ファミリーマート千曲八幡店

〒387-0023 千曲市八幡 2413 番 1
TEL 026-274-7711

あなたとコンビニに♪
ファミリーマートは地域活性化を応援します。

7 SEVEN&i

セブン-イレブン 千曲八幡店

千曲市八幡 5850-1
電話 026-272-4516

松嶋新聞店
TEL 026-272-1352
FAX 026-272-3952
E-mail: matsushima.n.and.f@nifty.com

千曲市川西地区振興連絡協議会

http://chikuma-hakkenden.com

千曲市川西地区
ウォーキングマップ

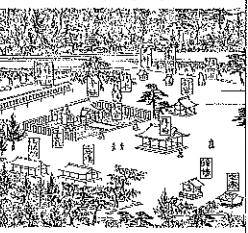
かわにし burari・千曲市

平成 19 年発足、自分達自ら行動を起こして地域振興に貢献を目標に早や 10 年経過。活動内容は HP 「ちくま発見旅」でご確認ください。会長 高村 徳太郎

ウォーキングの
モデルコース

コース 1

武水分神社から 八幡の神社巡り



- 1 武水別神社 ↓ 0.1km
- 2 松田家齋館 ↓ 0.5km
- 3 清浄院 ↓ 1.0km
- 4 高根社 ↓ 1.1km
- 5 齋ノ森神社 ↓ 0.6km
- 6 臼道祖神 ↓ 0.3km
- 7 青海橋跡 ↓ 0.4km
- 1 武水別神社

コース 2

大雲寺と霊諍山 散策ウォーク

- 8 笹焼神社 ↓ 0.6km
- 9 大雲寺 ↓ 1.0km
- 10 霊諍山 ↓ 1.0km
- 11 元八幡 ↓ 0.4km
- 8 笹焼神社